

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児通所支援事業所 シュシュ		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 26日		R8年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	R8年 1月 26日		R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの充実	保育士を中心に活動内容について検討を行っている。 季節や個々に合わせた成長発達や、年齢ごとに経験してほしい遊びなどを考慮し検討している 個々の成長発達に合わせた個別活動やレクレーション等集団活動を組み合わせている	年齢による発達過程や、発達過程に応じた遊びの種類などの勉強会を行い、個々の発達を評価し課題や遊び等の検討を行えるようにした
2	多職種の意見を取り入れて療育活動を決定、実施しているので多角的な視点で検討できる	定期、不定期のミーティングで活動計画の詳細を決定している。活動のやりたいことなどをアンケート形式で聞き取るなど意見しやすい環境を整えている	看護師やリハ職から専門的な見解での意見を上げてもらい、より実施しやすい活動計画を詳細に上げるようにしていった
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもたちとの交流ができない	利用児の居住区域(校区)と事業所の校区が違うため交流先の地域の選定が難しい。 支援学校の利用児が多いので交流先がない	ニーズの把握と交流先の選定
2	職員間の情報の共有、共通理解が難しい	個別支援計画書や療育の方針について周知、統一見解による理解が得られないことがある	職員会議やケース会議等で意見をすり合わせながら、療育方針を決定する 意見を上げやすい会議を実施する
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	シュシュ					公表日	R8年 3月 7日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1 無回答 1		長期休暇中など利用人数によって手狭に感じることがある	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1 無回答2			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	無回答 1	子どもに侵入してはいけないエリアを線引きして指導している	構造化の理解度が様々なのでうまく活用されていないときもある	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	無回答 1	清潔保持の必要性を理解している		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	無回答 1	カーテンやスクリーンを活用しプライバシー保持に努めている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	2 無回答 1		業務改善の振り返りについて見落としているかもしれない	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	無回答 1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1 無回答 1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	7 無回答 1		第三者とは？ 法人で決定することなので回答が難しい	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	無回答 1			
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	無回答 1	法人のホームページ上で公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	無回答 1			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	無回答 1 △ 1	共通理解のための工夫がされている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	無回答 1 △ 1	個人情報保護のため、各自でカルテを確認するように全体周知している	ホワイトボードに掲示してもいいのでは	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	無回答 1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12				

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1 無記名1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	3	必要な情報を漏らさず収集できるよう連絡システムを検討した	スタッフ各々が日によって持ち場が変わるので必ずとは言えない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	4	毎日ではないが定期的に振り返りを共有している 時間は決めていないが、必要なことを共有しようとしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		毎日の療育記録を個人担当で残している。利用日には以前の記録を確認し把握するように徹底している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っている。 ①自立支援と日常生活の充実のための活動②創作活動③地域交流の機会の提供④余暇の提供	10	1 無回答 1		地域交流が難しい 4つの活動が日々の療育にどう織り込まれているか知りたい
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	10	1 無回答 1		自己決定する力を育てるための活動が日々の活動にどう織り込まれているか知りたい
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	1	児発管、リハビリ、看護師など対象児や会議のテーマに即したスタッフを参加させています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	1	連携する準備は常時整えている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	2		わからない
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	4	対象児がいる時は就学準備のための移行会議等に出席して情報収集している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	1	対象児がいる時は移行会議に出席し情報の提供を行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	5	定期的な児童発達支援センターの事業所訪問を受けている	特に助言が欲しいケースがなかった
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	9		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	6	南区の子ども部会に議題によって参加することもある	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	5	ニーズがあれば検討していく予定	ニーズの聞き取りができていない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	1	利用契約時に説明している 変更があった時は、書面で説明し同意を得ている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		半年に一回面談を実施中。不定期でも要望があれば対応は可能な状態にしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	12		家族イベントや茶話会の開催ができています	きょうだい児に焦点を当てたイベントは実施していない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	無回答 1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12		月に一回おたよりを配布 月に一回以上療育の様子や行事の様子の写真をラインでお知らせ 不定期にInstagramに掲載	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	無回答 1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12		契約時と年度初めなど定期的に看護師より聞き取りを行っています	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12		契約時と年度初めなど定期的に看護師より聞き取りを行っています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	1	避難訓練は定期的実践している 前年度より重大事故防止のための安全計画マニュアルを作成しています	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12				